

# 農業サポーター制度とサポーターの養成

益田市担い手支援センター



## 1. 益田市担い手支援センターの取り組み

益田市担い手支援センターでは、新規就農者や認定農業者の確保、集落営農の推進などに取り組みされており、草刈りによる農地の保全を支援する「益田市農用地等保全事業補助金」や、「趣味から生業」まで様々な新規就農者のニーズに応えた6つの講座を開設されたり、農地だけでなくハウスの意向調査とマッチングなど、様々な活動をされています。

益田市の取り組みでも特に有名な、「農業サポーター制度」と、サポーターを養成するための研修制度について、担い手支援センターにお聞きしました。

### 「益田市農業サポーター制度」と「<sup>がくえん</sup>ますだアグリ楽援」

—市では、農業サポーター制度を創設されています。その背景は。

**益田市** 全国的にもそうだが、益田市でも農業者の高齢化が進んでいる。担い手である認定農業者への意向調査でも、労働力不足についての相談が寄せられた。また、市の基幹的農産物である柿についても、労働力不足で柿園の管理が困難になったという悩みが高齢者から寄せられるようになった。

このような状況の一方、食の安心・安全の問題を通じて、一般の市民の方も「食」と「農」に関心を持ち始めた。そこで、両者をつなぎ、それぞれが満たされる関係をつくりたいということで検討を始めた。

—制度を創設されるために、どのような準備をされましたか。

**益田市** 平成17年10月に、仙台市に視察に行った。仙台市では平成14年度から農業サポーター養成講座に取り組んでおり、制度の効果と運営方法、問題点を教えていただいた。課題の一つは、実施において、サポーターを農家につなぐための登録や調整・斡旋。もう一つの課題は、労働力について農家の需要とサポーターによる供給のバランスが取れるかどうかということだった。

12月には、JAの営農課に、視察の結果や農家への意向調査の結果を報告し、農業サポーター制度について説明した。

さらに、(社)シルバー人材センターとの協議をしたところ、シルバー人材センターからは「センターは農家の要望に対応しきれておらず、サポーター制度はお互いの要求を満たす良い制度であり、取り組みを進めて欲しい」という意見をいただいた。

また、認定農業者、水田農業ビジョンの担い手、JA西いわみ各生産者部会員の合計781件に意向調査を実施したところ、249名(回収率32%：うち認定農業者50件)から回答があり、「人材バンク的な仕組みづくり」について「必要である」と回答された認定農業者は94%に上った。

平成18年4月には島根労働局と協議をした。仙台市では、農家とサポーターのマッチングは、制度を利用したい農家とサポーターの両者が台帳に登録し、それぞれが台帳を閲覧するという方法で行っており、円滑な運営には至っていないようだった。市が「斡旋・調整」という業務をするには職員が資格を取得し、厚生労働省への事業所開設の届出が必要。市が資格を取る必要があるのか、他の手段はないかという検討をし、結局、円滑な運営を行うには職業紹介の責任者が1名必要だということになり、市が資格を取って開設することにした。

その後も県に協力や支援を依頼したり、JA西いわみに制度の実施や広報、申込み受付などの協力を依頼したり、職業紹介の資格を取得するための講習に出席したり、別の先進地を視察するなどの事前準備や開校後の体制整備のための取り組みをした。

—農家の方を支援するとなると、専門知識や技術が必要になる場面もあり得ます。その対応は。

**益田市** 農家の方への意向調査で、「作業を手伝う者として登録した方々に対する事前研修は必要だと思いますか。」という設問があり、認定農業者からは、事前研修は必要という意見が半数に上った。そこで、市としても責任を持って農家に紹介できるサポーターを育成しなくてははいけないし、農家で作業はアルバイト感覚ではなく、市の農業を支えているという意欲と誇りを持っていただきたいということで、研修は不可欠と考えた。

こうして、研修制度である「ますだアグリ楽援」の創設につながった。

### 「ますだアグリ楽援」の概要（二期生募集要項等より）

#### 《日時》

平成19年5月から平成20年4月までの間。毎月第2木曜日（月2回開催の場合は第2、第4木曜日）。10時から15時30分。

講座回数は17回。その他、自主登校として通常管理（草抜きや灌水など）を行う。

#### 《内容及び実習作物》

講義、栽培実習、市内の農家視察など。

トマト、メロン、ホウレン草、ブドウ、西条柿、ゆず、わさびなど。

#### 《対象者》 次の5つの条件を全て満たしていること

- ①益田市内または鹿足郡に居住
- ②平成19年4月1日現在で65歳以下
- ③健康面に不安がない方
- ④普通自動車免許を所有し、講座場所まで自家用車で通える方
- ⑤講座終了後に農業サポーターとして活躍したい方

#### 《募集人員及び経費》

15名程度。10,000円（傷害保険料、肥料費、薬剤費、種苗費。10,000円を超えた場合は市が負担。また、備品は市が購入する。）

#### 《その他》

講師は県職員、市職員、JA西いわみ職員、農業者など。

全17回の講座のうち、12回以上出席すると認定書が授与され、サポーターとして活躍出来る。

ますだアグリ楽援（益田市）のホームページ

[http://www.iwami.or.jp/masudasi/top/kurashi/map/nousui/ninaite/agri/agri\\_top.htm](http://www.iwami.or.jp/masudasi/top/kurashi/map/nousui/ninaite/agri/agri_top.htm)

—「ますだアグリ楽援」を実施されて、農家の労働力不足の解消にはつながっていますか。

**益田市** 平成18年9月から平成19年8月までの一期生は10名だった。平成19年5月から平成20年4月までの二期生は4名だった。一期生のうち8名の方が7割以上出席され、サポーターとしての認定を受けられた。実際の農家へのサポートは、4名の修了生の方が延べ9回、5名の農家の方をサポートされた。

制度が始まったばかりで現在のところそれほど実績はないが、サポーターの意識の変化がみられ、実際に手伝われた方からは、「収入も低く、作業も大変で楽なものではない農家の状況が理解できた」という声などが聞かれた。

—これからの課題はどのようなものがありますか。

**益田市** 課題の一つは、より多くの受講生に修了していただき、サポーターを確保すること。仙台市では、

農家の需要に対してサポーターが1.5倍を理想としていた。益田市では、認定農業者（119名）がサポーター制度を利用出来ることにしている。理念としては全農家を対象としたいが、労働関係の法律の問題があり、利用者を練引きする場合、全農家を利用者にするか、認定農業者のみを利用者にするかになってしまうので、今は認定農業者のみを対象としている。

もう一つの課題は、農家のニーズとサポーターとのマッチング。農家は、農繁期に連続して手伝って欲しいという要望が多いが、サポーターの方もパートなど仕事をされている方が多く、条件が合わないこともあるようだ。

### 「ますだアグリ楽援」の活動実績（一期生）

#### 第1回 平成18年9月9日（土）



- 開講式
- ブドウ農家と施設野菜農家を訪問

#### 第2回 平成18年9月28日（木）



- トマト農家での農業体験
- ホウレン草の栽培講義・実技

#### 第3回 平成18年10月12日（木）



- 柿の収穫、調製
- ブドウ栽培の基礎
- 視察研修（JA西のわみ選果場、倉庫）

#### 第4回 平成18年11月9日（木）



- ホウレン草の収穫、調製
- 視察研修（美都ゆず農家、匹見わさび農家）

#### 第5回 平成18年12月14日（木）



- ハウスビニール除去作業
- 柿の整枝、剪定
- ブドウ栽培の基礎、ブドウの整枝、剪定

#### 第6回 平成19年1月11日（木）



- ピープルバスの内張り作業
- イチゴ栽培の基礎
- 中間検討会
- 施肥作業

#### 第7回 平成19年2月8日（木）



- メロン播種
- トマト定植
- メロン栽培の基礎
- 畝立て、マルチ張り

#### 第8回 平成19年3月8日（木）



- メロン定植
- トマト栽培管理
- メロン栽培の基礎

#### 第9回 平成19年4月12日（木）



- メロン誘引、芽かき
- トマト摘果、芽かき
- トマト栽培の基礎
- ブドウ芽かき

#### 第10回 平成19年5月10日（木）



- 益田市新アグリセンターについて
- メロン摘果、誘引
- トマト収穫、調製
- トマト栽培の基礎
- ブドウ栽培管理
- 柿の芽かき

### 第11回 平成19年5月24日(木)



- 農家体験研修(メロン農家)
- 病害虫防除・農業の基礎
- ブドウの摘粒
- 柿の摘蕾

### 第12回 平成19年6月14日(木)



- メロン収穫、調製
- 定植準備(トマトハウス)
- 土壌と肥料

### 第13回 平成19年6月28日(木)



- 遮光ネット張り、畝立て、灌水作業
- 柿栽培の基礎
- ブドウ摘粒
- 柿の新梢管理

### 第14回 平成19年7月12日(木)



- ブドウ農家体験研修
- 花菜栽培の基礎
- トマト定植作業
- メロンハウスの後片付け

### 第15回 平成19年7月26日(木)



- 夏・秋野菜の基礎知識
- トマトの誘引
- 柿栽培の基礎
- 柿の摘果

### 第16回 平成19年8月9日(木)



- ブドウの収穫、調製
- トマトの誘引、芽かき
- ホウレン草栽培の基礎
- 農業機械の基礎知識

.....  
 以上16回の講座の他に10回の自主登校もありました  
 .....

### 第17回 平成19年8月23日(木)

#### ■ 修了式と意見交換会



.....  
 各講座の活動内容や参加された方の感想は、ますだアグリ楽援(益田市)のホームページ  
 に詳しく掲載されています。  
 .....